

2018年7月2日

各 位

不動産投資信託証券発行者

日本ロジスティクスファンド投資法人

代表者名 執行役員

棚橋 慶太

(コード番号：8967)

資産運用会社

三井物産ロジスティクス・パートナーズ株式会社

代表者名 代表取締役社長

棚橋 慶太

問い合わせ先 財務企画部次長

関口 亮太

TEL.03-3238-7171

新木場物流センターII 屋上の太陽光発電施設の設置に関するお知らせ

(東京都及び JAG 国際エナジーへの協力)

日本ロジスティクスファンド投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、東京都が創設した官民連携再生可能エネルギーファンド事業における投融資先である新木場ソーラーウェイ合同会社に、保有物件である新木場物流センターIIの屋上敷地を賃貸しており、本日、新木場ソーラーウェイ合同会社が太陽光発電施設「新木場ソーラーウェイ」の建設工事を着工することについて本投資法人が承認しましたのでお知らせします。

記

1. 官民連携再生可能エネルギーファンド事業の概要

東京都は再生可能エネルギーの導入を促進するために官民連携再生可能エネルギーファンド事業を2014年に創設し、JAG 国際エナジー株式会社（以下「JAG 国際エナジー」といいます。）は2社ある当該ファンド運営事業者のうちの1社として選定されています。JAG 国際エナジーは、都内投資促進型ファンド及び広域型ファンドの2つを設立しており、新木場ソーラーウェイ合同会社はJAG 国際エナジーの都内投資促進型ファンドにおいて投融資された案件となります。

2. 建設する発電施設の概要

新木場物流センターIIの屋上に建設する発電施設「新木場ソーラーウェイ」は、新木場ソーラーウェイ合同会社の保有資産であり、本投資法人は、保有物件の環境・省エネルギー対策を推進する取り組みの一環として、新木場ソーラーウェイ合同会社に対して新木場物流センターIIの屋上敷地を賃貸しています。なお、当該発電施設の建設工事の着工日より新木場物流センターIIの屋上敷地にかかる賃料が発生しま

す。「新木場ソーラーウェイ」は年間計画発電量が一般家庭の年間電力消費量約 300 世帯分に相当する出力約 0.9MW の太陽光発電所で、年間約 500t 程度の CO₂ 削減効果が見込まれます。

3. 本投資法人の今後の対応

本投資法人は、引き続き、保有物件の屋上等を有効活用すべく、環境への配慮や社会への貢献といった社会的責任の観点を含めて事業者を選定し、賃貸等の検討を推進していきます。

4. 今後の見通し

新木場物流センターⅡ屋上敷地の賃貸にかかる賃料発生による本投資法人の 2018 年 7 月期（第 26 期）及び 2019 年 1 月期（第 27 期）における運用状況への影響は軽微であり、運用状況の予想に変更はありません。

以上

※本投資法人のウェブサイト <http://8967.jp/>